

# 北海道学生研究会 SCAN

## 第 11 回合同研究発表会

### 大会テーマ 『持続性ある地域づくり』

- 日時 2020年12月19日(土)  
○場所 zoom(オンライン開催)  
○参加費 無料  
○発表参加大学 北海学園大学・釧路公立大学・北星学園大学・函館大学・札幌大学  
○主催 北海道学生研究会 SCAN (札幌大学北海道学生研究会 SCAN 運営事務局)  
○特別協力 (株)北海道銀行, (株)北海道新聞社, 札幌大学  
一般社団法人北海道観光を考えるみんなの会

#### ○発表チームテーマ(5大学18報告)

- ・北海学園大学 宮島ゼミ 「外国人労働者と地域活性化」
- ・釧路公立大学 神野ゼミ A 「フットパスで環境教育~釧路元町の歴史と自然を生かして~」
- ・釧路公立大学 神野ゼミ B 「北大通活性化~中心市街地に若者を呼び込むには~」
- ・釧路公立大学 神野ゼミ C 「エネルギーの地産地消  
~釧路石炭火力発電稼働の意義と問題~」
- ・釧路公立大学 松野ゼミ 「地域活性化を目的とした宅配洗濯代行」
- ・釧路公立大学 松野ゼミ 「イベントマッチングアプリの提案」
- ・釧路公立大学 東ゼミ A 「釧路市に最適な TMO の事業  
~釧路市・福井市の相互比較より」
- ・釧路公立大学 東ゼミ B 「釧路の観光業の活性化」
- ・釧路公立大学 東ゼミ C 「基盤産業から見る持続可能な街づくりを目指す  
in 岩手県久慈市」
- ・釧路公立大学 東ゼミ D 「北海道新幹線の札幌延伸による経済効果  
~メリットとデメリットの比較から~」
- ・北星学園大学 野原ゼミ 「5G を活用した持続可能な街づくり」
- ・北星学園大学 野原ゼミ 「モえろ、赤平市！ホップ・ステップ・グランピング作戦」
- ・北星学園大学 野原ゼミ 「持続可能な地域づくりのためのナッジ理論を応用した環境  
配慮型行動の推進」
- ・函館大学 佐藤ゼミ 「西部地区活性化を目的とした EV 車を利用した新交通の提案」
- ・札幌大学 中山研究室 A 「北海道の二段階移住の可能性~HBL を事例に~」
- ・札幌大学 中山研究室 B 「ヲタク達の考える地域活性化~聖地巡礼の可能性について~」
- ・札幌大学 武者ゼミ 「コンビニ 24 時間営業のこれから」
- ・札幌大学 武者ゼミ 「東京五輪延期による経済損失」

○予選審査員(各会場 6 チームの中から 1 チームが最優秀論文賞を受賞)

会社名	ご所属・役職	審査員名	会場担当
(株)北海道新聞社	営業統括本部 マーケティングセンター専任職	結城 敦史 様	Zoom2
(株)北海道新聞社	営業統括本部 マーケティングセンター担当部長	堤 智久 様	Zoom1
(株)北海道銀行	地域創生部 次長兼地方創生担当部長	辻 英樹 様	Zoom3
(有)金子設計事務所	専務取締役	金子ゆかり 様	Zoom2
(株)釧路新聞社	代表取締役	星 匠 様	Zoom3
(株)北海道二十一世紀総合研究所	調査部・特任審議役	木本 晃 様	Zoom1
学校法人 札幌大学 (元 北海道副知事)	理事長	荒川 裕生 様	Zoom1
経済産業省北海道経済産業局	総務企画部 企画調査課	秋田 卓也 様	Zoom2

注)予選を勝ち抜き、第1位に輝いたチームは、「北海道学生研究会 SCAN 最優秀論文賞」を受賞します。

○本戦(各会場の最優秀論文賞受賞チームへの冠スポンサー賞の選定) (敬称略)

賞	選考者
北海道新聞社 賞	結城 敦史 様, 堤 智久 様
北海道銀行 賞	辻 英樹 様, 上野 勇気 様, 安田 久美 様
北海道観光を考えるみんなの会 賞	木本 晃 様

注)冠スポンサー賞は今年度より試験的に実施する賞になります。

北海道学生研究会 SCAN の「最優秀論文賞受賞」チームの中から選ばれます。

○各大学の SCAN 顧問教員(敬称略)

釧路公立大学 神野 照敏 先生  
 釧路公立大学 東 祐三 先生  
 釧路公立大学 松野 奈津子 先生  
 北海学園大学 宮島 良明 先生  
 北星学園大学 野原 克仁 先生  
 函館大学 佐藤 浩史 先生  
 札幌大学 武者 加苗 先生  
 札幌大学 中山 健一郎 先生

## 第11回(2020)合同研究発表会テーマ

### 「持続性ある地域づくり」

#### 【テーマの説明】

今年は新型コロナウイルスの影響が長期化し、3密回避にはじまる行動自粛のなか、人との関わり方、生活の仕方が大きく変わろうとしています。

新北海道スタイル宣言は、そんな中でも普段の日常を少しでも取り戻す新しいルールを示していますが、感染抑止の観点からこれまでふつうに行われてきた地域内及び地域間のイベントも自粛傾向が高くなり、中止や延期になっています。大きな環境変化のなかで地域の活動も手探りや模索が続いており、「やりたいことができない」、「やる気が起きない」のような思考も芽生えているように思います。

こうしたなかで地域は何をすべきでしょうか？また、何ができるでしょうか？

私たち学生はこういう苦しい時こそ、地域の助けになれるような活動や研究は大切であり、これまで積み上げてきたものを続けていくべきではないかと考えます。また、こうした時であるからこそ地域貢献活動や研究の真価が問われるのではないのでしょうか。

私たちは昨年度のテーマである「持続性のある地域づくり」を今年も採用しました。

地域活性化には人が集まり、交流が生まれ、住みやすい地域づくりも大事になってきます。活性化を施し、持続性を生み出すためには地域の人々のやる気、地域の賑わいを取り戻したい気持ちなど、地元民の想いが大切になってきます。つまり私たちは地域を元気づけることができるように「やりたかった」ではなく「やれることをやる」を考えることが最も世の中に貢献できることだと考えます。

このことから、地域の持続性に重きを置き、私たちはこれを主軸としたテーマを設けました。

#### ■オンライン大会上の注意

- ・大会発表の前に、受付、開会式、オリエンテーションを行います。
  - ・zoom上ではハンドルネームは使用しないでください。所属と名前をお願いします。
  - ・発表学生 『大学名 発表チーム名 名前』  
(例) 札大(中山) 富樫・清野 / 釧路公大(東) 桑田
  - ・発表しない聴講学生 『大学名 学年 名前』 (例) 札大2年 稲垣
  - ・審査員・列席者 『所属団体名 名前』
  - ・カメラ/マイク設定
  - ・発表学生は発表時にはカメラ・マイク ON、発表していないときは両方 OFF。
  - ・視聴のみの学生はカメラ・マイク OFF、ただし質問時には両方 ON。
  - ・審査員は常にカメラ ON。講評・質問時にはマイクも ON。
  - ・休憩中は全ての人がカメラ・マイク OFF。
- 
- ・メイン会場は第1会場(Zoom①)になります。
  - ・オリエンテーションで本大会の注意事項を説明します。
  - ・本大会は午前中に予選、午後から本戦(各企業賞の選定)を行います。
  - ・オリエンテーション終了後、各会場(3つの会場)に分かれて予選大会を行います。  
各会場で6チームが発表します。  
第1会場(Zoom①)・・・発表会場  
第2会場(Zoom②)・・・発表会場  
第3会場(Zoom③)・・・発表会場  
第4会場(Zoom④)・・・大会本部

- ・お昼休みに総会前打ち合わせを行います。各大学の顧問の先生方、各チームの代表者をご参加ください。Zoom②で行います。
- ・お昼休みに審査員は各会場の予選の結果を Zoom④までお知らせください。審議会場が必要な場合には、Zoom③, Zoom④で対応します。
- ・午後からは、予選を通過された北海道学生研究会 SCAN の「最優秀論文賞」にチームに選抜されたチームの研究発表(本戦大会)は第1会場(Zoom①)において行います。
- ・発表会終了後に総会を開催します。今後の大会の在り方について審議します。
- ・午後の最優秀論文賞チームのプレゼンテーションが終わりましたら、総会を開催します。(総会の会場は、Zoom①です)
- ・総会の間に、審査員は各チームの賞を決めて頂きたいと思います。Zoom④で行います。
- ・表彰式・閉会式は第1会場(Zoom①)で行います。
- ・閉会式終了後、1時間程度、交流会を開催します。(Zoom④)
- ・なお、大会本部への緊急連絡および確認事項は、Zoom④ないし、メールにて対応します。

**E-mail scan\_su@yahoo.co.jp**

## ■各会場の Zoom リンク先

■Zoom①(第1会場=メイン会場→開会式、予選・本戦・総会・表彰式・閉会式・交流会):ホスト中山

<https://zoom.us/j/93954877996?pwd=Yk9UTnZQU2NzVGdGWC9TYVFzQ0FZdz09>

ミーティング ID: 939 5487 7996

パスコード: cDU0W6

■Zoom②(第2会場→昼休み:総会前打ち合わせ会場):ホスト浦川

<https://zoom.us/j/93029074292?pwd=SURVTmptRVBRZEpGtlh4MzREVjhMUT09>

ミーティング ID: 930 2907 4292

パスコード: 7TsQfy

■Zoom③(第3会場→審査員会場:北海道銀行様):ホスト阿部

<https://zoom.us/j/97602887181?pwd=eW14UWRYNHY4dXUxZzZ4enpCdzVJdz09>

ミーティング ID: 976 0288 7181

パスコード: 8wp6qr

■Zoom④(第4会場:大会本部→審査員会場:北海道新聞社様→審査結果報告・交流会):ホスト伊澤

<https://zoom.us/j/99793938188?pwd=S1BEOUpSQ1JrRnZlaVlqY3BkOEUxQT09>

ミーティング ID: 997 9393 8188

パスコード: gRPQs2

■Zoom⑤(昼休みの Zoom①の審査会場):ホスト中山

<https://zoom.us/j/94355435050?pwd=Q3l3NHVxZ0VlNKlBbTRPRVRhYXlHUT09>

ミーティング ID: 943 5543 5050

パスコード: gRVuM9

## 全体の流れ

	Zoom①	Zoom②	Zoom③	Zoom④
9:00~9:15	受付	/	/	(大会本部)
9:15~9:45	開会式			
9:45~10:00	オリエンテーション			
10:00~10:10	各ルームに移動			
10:10~10:15	司会挨拶・説明	司会挨拶・説明	司会挨拶・説明	
10:15~10:35	発表①(函館大)	発表①(北星学園大)	発表①(釧路公立大)	
10:35~10:55	発表②(札幌大)	発表②(釧路公立大)	発表②(札幌大)	
11:00~11:20	発表③(釧路公立大)	発表③(釧路公立大)	発表③(釧路公立大)	
11:20~11:40	発表④(北海学園大)	発表④(釧路公立大)	発表④(釧路公立大)	
11:45~12:05	発表⑤(北星学園大)	発表⑤(札幌大)	発表⑤(北星学園大)	
12:05~12:25	発表⑥(釧路公立大)	発表⑥(札幌大)	発表⑥(釧路公立大)	
12:25~13:30	昼休憩 (審査員は Zoom5 に移動 して下さい) <b>Zoom5</b> (Zoom1 の審査会場)	総会打ち合わせ (各大学の顧問, 各大学 の学生代表の方が対象 です。ご移動願います)	(Zoom3 審査会場)  Zoom3	(Zoom2 審査会場)
13:30~13:35	司会挨拶・紹介	/	/	(大会本部)
13:35~13:55	選抜発表①			
14:00~14:20	選抜発表②			
14:25~14:45	選抜発表③			
14:45~15:00	総会	冠スポンサー賞審査 (予備室)	冠スポンサー賞審査 (予備室)	冠スポンサー 賞審査
15:00~15:20	表彰式	/	/	(大会本部)
15:25~15:45	閉会式			
15:50~16:50	交流会①			/

### Zoom5(Zoom1 の特別審査会場)12:25~13:35

トピック: Zoom5(北海道学生研究会SCAN)

Zoom ミーティングに参加する

<https://zoom.us/j/94355435050?pwd=Q3l3NHVxZ0Vlbnk1BbTRPRVRhYXlHUT09>

ミーティング ID: 943 5543 5050

パスコード: gRVuM9

## ○タイムテーブル

Zoom① 審査員:木本 晃 様, 堤 智久 様, 荒川 裕生 様

／司会(総合・第1会場):加藤 葵(札幌大学1年)

### Zoom URL

<https://zoom.us/j/93954877996?pwd=Yk9UTnZQU2NzVGdGWC9TYVFzQ0FZdz09>

ミーティング ID: 939 5487 7996

パスコード: cDU0W6

時間		テーマ
9:00~9:15	受付	
9:15~9:45	開会式	
9:45~10:00	オリエンテーション	
10:00~10:10	各 zoom に移動	
10:10~10:15	司会挨拶・説明・紹介	
10:15~10:35 (発表・質疑・講評含む)	発表① 函館大学 佐藤ゼミ 岩渕航季ほか	『西部地区活性化を目的としたEV車を利用した新交通の提案』
10:35~10:55 (発表・質疑・講評含む)	発表② 札幌大学 中山研究室 B 富樫輝艶ほか	『フタク達の考える地域活性化~聖地巡礼の可能性について~』
10:55~11:00	休憩・準備・紹介	
11:00~11:20 (発表・質疑・講評含む)	発表③ 釧路公立大学 松野ゼミ 牧野心ほか	『地域活性化を目的とした宅配洗濯代行』
11:20~11:40 (発表・質疑・講評含む)	発表④ 北海学園大学 宮島ゼミ 南條優企ほか	『外国人労働者と地域活性化』
11:40~11:45	休憩・準備・紹介	
11:45~12:05 (発表・質疑・講評含む)	発表⑤ 北星学園大学 野原ゼミ A 辻澤邦雄ほか	『持続可能な地域づくりのためのナッジ理論を応用した環境配慮型行動の推進』
12:05~12:25 (発表・質疑・講評含む)	発表⑥ 釧路公立大学 神野ゼミ A 七戸隆汰ほか	『フットパスで環境教育 ~釧路元町の歴史と自然を生かして~』
12:25~13:30	昼休憩	審査員による予選審査 12:25~13:00 結果は同席の運営学生に
		総会前打ち合わせ 決勝チーム進出の通達 13:10~13:30
13:30~13:35	司会挨拶 決勝進出チーム紹介	
13:35~13:55	発表 1	

(発表・質疑含む)		
13:55~14:00	休憩	
14:00~14:20 (発表・質疑含む)	発表 2	
14:20~14:25	休憩	
14:25~14:45 (発表・質疑含む)	発表 3	
14:45~15:00	総会	審査員による各賞審査 表彰式準備
15:00~15:20	表彰式	オンライン上で表彰 各部門講評・表彰
15:20~15:25	休憩・準備	
15:25~15:45	閉会式	
15:45~15:50	休憩・準備	
15:50~16:50	交流会	

Zoom② 審査員:結城 敦史 様, 金子ゆかり 様, 秋田 卓也 様

／司会(第2会場) 石崎萌絵(札幌大学1年)

Zoom URL

<https://zoom.us/j/93029074292?pwd=SURVTmptRVBRZEpGTLh4MzREVjhMUT09>

ミーティング ID: 930 2907 4292

パスコード: 7TsQfy

時間		テーマ
10:00~10:10	各 zoom に移動	
10:10~10:15	司会挨拶・説明・紹介	
10:15~10:35 (発表・質疑・講評含む)	発表① 北星学園大学 野原ゼミ 西谷珠里ほか	『5G を活用した 持続可能な街づくり』
10:35~10:55 (発表・質疑・講評含む)	発表② 釧路公立大学 東ゼミ C 桑田楓ほか	『基盤産業から見る持続可能な街づくりを 目指す in 岩手県久慈市』
10:55~11:00	休憩・準備・紹介	
11:00~11:20 (発表・質疑・講評含む)	発表③ 釧路公立大学 神野ゼミ B 若杉航陽ほか	『北大通活性化~中心市街地に若者を呼び 込むには~』
11:20~11:40 (発表・質疑・講評含む)	発表④ 釧路公立大学 東ゼミ B 高野恵吾ほか	『釧路の観光業の活性化』
11:40~11:45	休憩・準備・紹介	
11:45~12:05 (発表・質疑・講評含む)	発表⑤ 札幌大学 中山研究室 A 宮浦開登ほか	『北海道の二段階移住の可能性 ~HBL を事例に~』
12:05~12:25 (発表・質疑・講評含む)	発表⑥ 札幌大学 武者ゼミ 石峯稜士ほか	『コンビニ 24 時間営業 のこれから』
12:25~13:30	昼休憩	審査員による予選審査 12:25~13:00 結果はメールで大会本部へ
		総会前打ち合わせ 決勝チーム進出の通達 13:10~13:30
13:30~13:35	司会挨拶 決勝進出チーム紹介	
13:35~13:55 (発表・質疑含む)	発表 1	
13:55~14:00	休憩	
14:00~14:20 (発表・質疑含む)	発表 2	
14:20~14:25	休憩	

14:25~14:45 (発表・質疑含む)	発表 3	
14:45~15:00	総会	審査員による各賞審査 表彰式準備
15:00~15:20	表彰式	オンライン上で表彰 各部門講評・表彰
15:20~15:25	休憩・準備	
15:25~15:45	閉会式	
15:45~15:50	休憩・準備	
15:50~16:50	交流会	

Zoom③ 審査員:辻 英樹 様, 星 匠 様

／司会(第3会場) 奥寺光矢(札幌大学1年)

Zoom URL

<https://zoom.us/j/97602887181?pwd=eW14UWRYNH4dXUxZzZ4enpCdzVJdz09>

ミーティング ID: 976 0288 7181

パスコード: 8wp6qr

時間		テーマ
10:00~10:10	各 zoom に移動	
10:10~10:15	司会挨拶・説明・紹介	
10:15~10:35 (発表・質疑・講評含む)	発表① 釧路公立大学 神野ゼミ C 今吉風雅ほか	『エネルギーの地産地消~釧路石炭火力 発電稼働の意義と問題~』
10:35~10:55 (発表・質疑・講評含む)	発表② 札幌大学 武者ゼミ 渡部俊宜ほか	『東京五輪延期による 経済損失』
10:55~11:00	休憩・準備・紹介	
11:00~11:20 (発表・質疑・講評含む)	発表③ 釧路公立大学 東ゼミ A 齋藤優ほか	『釧路市に最適な TMO の事業~釧路市・ 福井市の相互比較より~』
11:20~11:40 (発表・質疑・講評含む)	発表④ 釧路公立大学 松野ゼミ 春日龍星ほか	『イベントマッチングアプリの提案』
11:40~11:45	休憩・準備・紹介	
11:45~12:05 (発表・質疑・講評含む)	発表⑤ 北星学園大学 野原ゼミ 山地佑季ほか	『モえろ、赤平市！ ホップ・ステップ・グランピング作戦』
12:05~12:25 (発表・質疑・講評含む)	発表⑥ 釧路公立大学 東ゼミ D 村山雅哉ほか	『北海道新幹線の札幌延伸による経済効果 ~メリットとデメリットの比較から~』
12:25~13:30	昼休憩	審査員による予選審査 12:25~13:00 結果はメールで大会本部へ
		総会前打ち合わせ 決勝チーム進出の通達 13:10~13:30
13:30~13:35	司会挨拶 決勝進出チーム紹介	
13:35~13:55 (発表・質疑含む)	発表 1	
13:55~14:00	休憩	
14:00~14:20 (発表・質疑含む)	発表 2	
14:20~14:25	休憩	
14:25~14:45	発表 3	

(発表・質疑含む)		
14:45~15:00	総会	審査員による各賞審査 表彰式準備
15:00~15:20	表彰式	オンライン上で表彰 各部門講評・表彰
15:20~15:25	休憩・準備	
15:25~15:45	閉会式	
15:45~15:50	休憩・準備	
15:50~16:50	交流会	

■交流会(15:50~16:50)

Zoom1	進行	企業交流(司会:中山) サポート:奥寺, 加藤葵, 苦米地
15:50~16:00	交流会説明, 司会挨拶, 流れ説明	(目的) 協賛企業へのお誘い, 協賛企業賞の創設, 学生と企業との交流の場としたい
16:00~16:15	企業紹介	
16:15~16:35	企業 PR の時間	2021 年度にコロナ禍おさまって学生と一緒にやっても良い企画などを紹介。 (ゲスト1) ・岩見沢駅前商店街(Go to 商店街) (有)山石前野商店 代表 前野雅彦様  (ゲスト2) ・札幌ゲストハウス活性化(Stay Link) 合同会社 Stay Link 共同代表 柴田涼平様 → Waya
16:40~16:50	学生から質問	

Zoom4	進行	次年度の在り方(司会:伊澤) サポート:加藤拓, 山形, 阿部, 笠原
15:50~16:00	交流会説明, 司会挨拶, 流れ説明	(目的) 次年度の SCAN 合同研究発表会について自由意見をお聞きしたいです。
16:00~16:15	参加者自己紹介	各大学の顧問, 各大学の発表チームの代表にはぜひご参加頂きたいです。
16:15~16:45	次年度 SCAN のありかた自由討論~フリートーク	1. オンライン開催を続ける? 2. 有料化にしたい(今年は無料だが...) 参加費は 500 円~1000 円 3. 学生による審査制度について 4. 各大学ゼミから運営委員の派遣 5. その他(インターカレッジフォーラムはどうする?)
16:45~16:50	司会者によるまとめ	

## 各会場発表事例の概要紹介

### 【第1会場】Zoom1

	大学名 (チーム名)	研究の概要
発表 (1)	函館大学 佐藤ゼミ	<p><b>「西部地区活性化を目的とした EV 車を利用した新交通の提案」</b></p> <p>函館西部地区における高齢化の生活問題, また観光客の利便性拡大のために, コムスを利用した二次交通の環境整備を政策提言する。その実現化に向けて函館大学のペイエリア・サテライトでの実験的活用も提言している。 (未提出のため, 大会本部によりとりまとめ)</p>
発表 (2)	札幌大学 中山研究室 B	<p><b>「ヲタク達の考える地域活性化~聖地巡礼の可能性について~」</b></p> <p>世の中にはアイドルや 2 次元コンテンツを応援する様々なヲタクが存在しており、どのヲタクにも地域を活性化する力があると私たちは考える。中でも、ヲタクにとって一種の文化である「聖地巡礼」は多くの可能性を秘めている。2 次元コンテンツであれば、作中で実際の地域、場所を舞台にし、キャラクターとのコラボレーションを行うことで、その場所はヲタクたちの聖地となる。アイドルであれば、ドラマや映画の撮影、本人を介した PR 活動が行われた場所がヲタクたちの聖地となる。このように聖地には様々な在り方があるが、私たちはその持続性と賞味期限についても踏まえて研究、考察した。(274文字)</p>
発表 (3)	釧路公立大学 松野ゼミ	<p><b>「地域活性化を目的とした宅配洗濯代行」</b></p> <p>私たちのチームは「持続性のある地域づくり」というテーマから、地域活性化を目的としたビジネスプランを提案することにしました。ビジネスプランを作るうえでの想定地域を釧路市に設定し、釧路市の人口構造・経済状況・気候など、釧路市の現状を調べました。そこで、より多くの釧路市の住民の需要に応えること、釧路市の既存の企業と提携できるようなビジネスを立ち上げることが、地域活性化、及び、持続性のある地域づくりになると考えました。with コロナ、一年中湿度の高い気候、家事が日常的な負担となっていることなどの生活状況から、これらを解決できるような宅配洗濯代行のビジネスプランを提案します。(286文字)</p>
発表 (4)	北海学園大学 宮島ゼミ	<p><b>「外国人労働者と地域活性化」</b></p> <p>はじめに</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人労働者と地域活性化</li> <li>→人手不足の地域で重要な存在に</li> <li>・生産年齢人口の変化</li> <li>・外国人依存度の伸び率</li> <li>・外国人住民比率</li> <li>・技能実習制度について</li> <li>→受入体制の準備など課題が残る</li> </ul> <p>事例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・猿払村の事例</li> <li>・社会福祉法人恵生会の事例</li> <li>→職場だけでなく私生活に至るまでのサポート</li> <li>・企業から見た研修生</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修制度の意義と要望</li> <li>・東川町で働く外国人労働者</li> </ul> <p>不安要素</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・育成しても、短期滞在</li> <li>・制度改変や情勢に左右される</li> </ul> <p>今後の課題・対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人労働者の生活をサポート</li> <li>・祭りを開き交流</li> </ul> <p>(224 文字)</p>
発表 (5)	北星学園大学 野原ゼミ A	<p><b>「持続可能な地域づくりのための ナツジ理論を応用した環境配慮型行動の推進」</b></p> <p>普段北海道内のスーパー等で目にする牛肉。よく見ると、北海道産と海外産とが置いてあります。そして、安いからこっちにしよう、と海外産の牛肉を手にする。そのような方、結構多いのではないのでしょうか。ひよっとするとその行動、環境に良くない行動なのかも？今回、私たちはそのような観点から、近年少しずつ話題になっている「ナツジ理論」というものを用いて、海外産牛肉には安い価格の裏でさまざまな環境負荷が掛かっていることをお伝えし、牛肉の購買意識を海外産から北海道産にシフトして貰うような、そんな実験をしてみました。今回の発表でみなさまの行動の変化に少しでも後押しができれば幸いです。よろしくお願ひ致します。 (295 文字)</p>
発表 (6)	釧路公立大学 神野ゼミ	<p><b>フットパスで環境教育「釧路元町の歴史と自然を生かして」</b></p> <p>本研究のテーマは釧路橋南地区(釧路発祥の地、通称「釧路元町」)の自然や歴史を生かして、フットパスを利用した小学生向けの環境教育プログラム作成することである。私たちは少子高齢化の進む元町を実際に歩き、活気がなく寂しい姿を見て、この町を持続可能な住みやすい町にするにはどうしたらいいかを考えた。それには強いコミュニティ、いわゆる人と人との強いつながりが必要であり、住民が地域の活動やイベントに参加し、世代間の交流を増やすこと、そうした活動を通じて地域に愛着を持ってもらうことが大事だという結論に至った。そこで私たちは、元町の将来を担うであろう小学生を対象に、彼ら彼女らの地域への愛着を育む地域環境教育をフットパスを用いて行う方策を提案したい。 (319 文字)</p>

【第2会場】Zoom2

	大学名 (チーム名)	研究の概要
発表 (1)	北星学園大学 野原ゼミ	<p><b>「5G を活用した持続可能な街づくり」</b></p> <p>北海道の自然が豊かな土地などに5G を活用したサテライトオフィスを誘致する。</p> <p>目的 アフターコロナの働き方に着目し、都市圏を避け、人が開放感と癒しを得られる労働環境が必要と感じた。従来のサテライトオフィスと違う点は5G を活用する点と、北海道外からの流入者を期待できる点にある。このサテライトオフィスを誘致することで雇用と人口が増加し、それをきっかけに持続可能な社会が実現すると考える。</p> <p>実現可能性 サテライトオフィスについては、総務省が紹介している。また、災害等のリスク、土地、魅力の3点から北海道はサテライトオフィスに適した場所と言える。 (262文字)</p>
発表 (2)	釧路公立大学 東ゼミC班	<p><b>「基盤産業から見る持続可能な街づくりを目指す in 岩手県久慈市」</b></p> <p>私たち C 班の発表は、ドラマのロケ地として観光業を中心に盛り上がった岩手県久慈市について発表します。大きなブームを巻き起こした久慈市ですが、ドラマの放送から数年が経過し、観光業で得た賑わいは衰退しつつあります。ロケ地として大きな経済効果を生んだ街の具体例として久慈市を挙げ、持続的に街づくりをするためには、基盤産業の経済波及効果が重要だと考えました。人口減少が進んでいく中で、基盤産業の底上げ・誘致することが先のドラマ放映による一過性によるものではなく、持続的な街づくりに繋がり、人口減少に歯止めをかけることが可能になるのではないかと考え、多くの具体的なデータから久慈市に望ましい政策や効果を発表します。(301文字)</p>
発表 (3)	釧路公立大学 神野ゼミB	<p><b>「(釧路)北大通活性化`中心市街地に若者を呼び込むには`」</b></p> <p>本研究は、釧路市中心市街地である北大通周辺地域を対象とし、近年衰退著しいこの地域に再び賑わいを取り戻すための方策、若者の力を活用した活性化策を探ることをテーマとしている。このことを考えるうえで押さえておくべきは、なぜ地方都市に中心市街地が必要なのか、またそこに若者を呼び込むことにどんな意味があるのかということである。その必要性を一般的に考えられる中心市街地の役割から明らかにし、北大通に足りないものを考察する。さらにインタビュー調査を通じて、北大通に若者を呼び込むためには何が必要か、課題はどこにあるかを発見し、それらを踏まえた方策を提案したい。(274文字)</p>
発表 (4)	釧路公立大学 東ゼミB班	<p><b>「釧路の観光業の活性化」</b></p> <p>釧路地域を観光産業の振興によって活性化させることが目的です。地域活性化を目的とする理由は釧路市の基盤産業の衰退による人口の減少、それに伴う地域経済の衰退が考えられるためです。また生産波及効果が高い観光産業を活性化させることで地域活性化に繋がると考えたためです。</p> <p>そこでまず釧路市の観光産業の規模を知るために、観光客による経済効果、それに関連することを調べました。そしてその数値が高いのか、または低いのか、客観的な視点が必要だと考え、他地域と比較しました。具体的には札幌(道央)と函館(道南)と釧路(釧路・根室)地域の観光客数、消費単価、域内調達率(自給率)を比</p>

		<p>較しました。</p> <p>その結果考察として釧路市は観光客による、経済効果全体は他地域と比べて低いことが明らかになりました。その理由としては入込客数が、比較的少なくそのなかでも道外客の割合が低いと考えられます。また観光客の消費単価が比較的低いことがわかりました。他には消費の内訳を見ると、飲食費が高く、買い物代が低くお土産等に消費が向いていないことがわかりました。自給率に関しては、広域で比較したため数値が上下すると考えられます。しかし釧路・根室地域で見たとき自給率は極端に低い数値ではなかったため特に問題がないとしました。</p> <p>結論としては釧路市の観光産業はまだ伸び代があるとわかりました。課題としては観光客数の継続増加、とくに道外客の誘客が必要です。また地域の魅力を高め、多様なアクティビティを提供することで観光客に消費を促す必要があるとわかりました。(648文字)</p>
発表 (5)	札幌大学 中山研究室 A	<p><b>「北海道の二段階移住の可能性 HBL を事例に」</b></p> <p>2020年に創設されたHBL(北海道ベースボールリーグ)に着目し、北海道のちよこつと移住(二地域移住から二段階移住へ)の可能性を考察したものである。</p> <p>移住に至るには様々な過程を要するものもあり、段階的なプロセスを経て定住に結び付くものがある。</p> <p>ちよこつと移住は、北海道釧路市を中心に推奨されている制度であるが、類似する概念には二地域移住や二段階移住がある。二地域移住とは、2005年に国土交通省が提唱した概念であり、また、二段階移住は複数の拠点を巡りながら最適地での定住を促進する高知県独特の制度である。</p> <p>北海道は、これらの制度について全国ほどにはあまり熱心とは言えない。民間ベースのちよこつと移住の促進が北海道には必要であろうと考える。</p> <p>(316文字)</p>
発表 (6)	札幌大学 武者ゼミ 2 班	<p><b>「コンビニ 24 時間営業のこれから」</b></p> <p>2018 年ごろから 24 時間営業の弊害が指摘されるようになった。中でも 24 時間営業のコンビニは私たち大学生にとって便利なものである一方、オーナーが身を削って 24 時間営業を続けているという側面がある。そこで、本研究では大学生を中心にウェブアンケートを実施し、コンビニの 24 時間営業について世間一般とのギャップを明らかにする。大学生は 24 時間営業を求める声が多いが、それをふまえたうえで、コンビニ営業の先進的な例となっているセコマの例に学び、今後の 24 時間営業の在り方を提案する。(221文字)</p>

【第3会場】Zoom3

	大学名 (チーム名)	研究の概要
発表 (1)	釧路公立大学 神野ゼミ C 班	<p><b>「エネルギーの地産地消 釧路石炭火力発電稼働の意義と問題」</b></p> <p>本研究のテーマは、今年稼働を開始した釧路石炭火力発電を題材にエネルギーの地産地消について考えることである。私たちは、地域の持続可能な発展には、地域の経済を循環させることが不可欠と考え、地域内で生み出したものを地域内で消費する「地産地消」が重要であると考えている。本研究では、なかでも地域からの貨幣の漏出が大きいエネルギーに焦点を当て、その地産地消の取り組みとして釧路で行われている石炭火力発電の意義と課題について取り上げた。地球温暖化問題を背景に世界規模で石炭火力発電が反対されている中、釧路で行う意義とは何か。また、行う際に生じる問題点や、その問題点の解決策はあるのかいなか、これからの地域の望ましいエネルギー政策について考察する。 (320 文字)</p>
発表 (2)	札幌大学 武者ゼミ	<p><b>「東京五輪延期による経済損失」</b></p> <p>新型コロナウイルスの影響により、2020 東京五輪の 1 年間の延期が決定した。しかし、2021 東京五輪が開催されるとしても、従来想定されていたおりの開催とはならないだろう。先行研究によると、東京五輪の 1 年延期による経済損失は 2183 億円と試算されている。五輪が延期されることで発生する問題点は、①チケット代の一部返金が必要でかつ 100%の人を収容できないという点。②コロナ対策などで運営費用がさらに増える点である。このうち、本研究では①に重点を置いて対策を検討する。チケット代のキャンセルを防ぐためには、チケットそのものの価値を上げる必要がある。(272 文字)</p>
発表 (3)	釧路公立大学 東ゼミ A	<p><b>「釧路市に最適な TMO の事業 釧路市・福井市の相互比較より」</b></p> <p>まず第 1 章では、TMO の特徴と TMO になれる団体、そして TMO 認定の必要条件やプロセスを記述した上で、TMO とまちづくり会社や民間企業との相違点についてまとめている。</p> <p>次に第 2 章では、観光都市としての釧路市と比較対象となる福井市がそれぞれ持つ特徴、両都市の中心市街地の現状についてまとめている。</p> <p>また第 3 章では、上記の両都市に存在する TMO とその事業について紹介し、観光業の観点から従業員数ベースの特化係数を分析している。そして両都市 TMO の事業と絡めて釧路市 TMO の事業に関する問題点を指摘している。</p> <p>最後に第 4 章では、釧路市の現状と地域経済循環における観光業の重要性を挙げたのち、釧路市 TMO が今後担うべき役割や目指すべき事業形態をまとめている。 (295 文字)</p>
発表 (4)	釧路公立大学 松野ゼミ	<p><b>「イベントマッチングアプリの提案」</b></p> <p>私たちは北海道においての経済規模の衰退に着目し、改善することを目的としたビジネスモデルとして「イベントマッチングアプリ」の提案をします。顧客を 2 つに分けており、イベントを開催する側である“広告主”にはイベント集客の効率化ツール、イベントに参加する側である“消費者”には様々なイベント情報受け取るツールとしてこのアプリを利用してもらうことで消費促進や経済規模衰退の抑制することを目指しています。発表ではアプリのコンセプトとサービス内容をはじめ、アプリを実際にどのように使用するのか、搭載機能、利用プランの説明、アプリのプ</p>

		ライオリティ、浸透方法などについて説明させていただきたいと考えています。よろしくお願ひします。(306文字)
発表 (5)	北星学園大学 野原ゼミ	「モえろ、赤平市！ホップ・ステップ・グランピング作戦」 日本各地で深刻化していく過疎化。過疎地域は日本全国に存在しますが、今回私たちは北海道赤平市をモデルとして、過疎地域を対象とした持続可能な地域づくりについて検証しました。赤平市がどのような過疎対策、移住者増加対策を行っているのか。また、そのような対策を行っているのにも関わらず、依然として人口が減り続ける原因は何か。それらを検証した上で、赤平市に必要な要素を私たちに考え、新たに「ホップ・ステップ・グランピング！作戦」という対策を考えました。赤平市の土地や自然、生産品・名産などを生かし、グランピングを体験するだけで、赤平市の魅力も同時に楽しめるような工夫を凝らしています。ただ観光業を盛り上げるだけでなく、過疎対策・移住者増加対策へフォーカスしている点に注目していただきたいです。(343文字)
発表 (6)	釧路公立大学 東ゼミD	「北海道新幹線の札幌延伸による経済効果～メリットとデメリットの比較から～」 私たちは北海道新幹線が札幌に延伸した時の経済効果を調べました。具体的には、北海道新幹線以前より開通している東北新幹線と北陸新幹線新幹の例から利用者数を調べたり、新幹線が整備されることで得られる経済効果を調べました。また、新幹線を整備することでのメリットは大きく分けて二つ挙げられます。一つ目は、利用客数の増加です。これは主に、東京以北(北関東、東北)などからの利用客が増える見込みです。二つ目に、地価の価格変動が挙げられます。これは北陸新幹線とニセコ町の例を調べてどのような地価変動があったのか調べました。デメリットでは新幹線整備による都会にヒト・モノ・カネなどがすいとられてしまうストロー現象が挙げられます。私たちはデメリットよりメリットの方が北海道新幹線の札幌延伸による影響が大きいと考えたので、十分に経済効果が得られるという結論に至りました。(374文字)

#### 第11期北海道学生研究会 SCAN 運営事務局(2020年3月～2021年2月)役員・スタッフ紹介

学生代表	蔦井 義騎	つたい よしき	札幌大学地域共創学群経営学専攻3年
統括副代表	浦川 智正	うらかわ ともまさ	同 3年
副代表(渉外Ⅰ)	伊澤 滉二	いざわ こうじ	同 2年
副代表(企画)	山形 透悟	やまがた どうご	同 2年
副代表(企画)	加藤 拓史	かとう たくみ	同 2年
副代表(管理)	阿部 秀馬	あべ しゅうま	同 1年
副代表(渉外Ⅱ)	加藤 葵	かとう あおい	同 1年
副代表(渉外Ⅲ)	石崎 萌絵	いしざき もえ	同 1年
副代表(渉外Ⅳ)	奥寺 滉矢	おくでら こうや	同 1年
副代表(広報)	辻脇 吏貢	つじわき りく	同 地域共創学群スポーツ文化専攻1年
スタッフ	笠原 倅輔	かさばら こうすけ	同 地域共創学群経営学専攻1年
スタッフ	吉田 凌	よしだ りょう	同 1年

# 北海道学生研究会 SCAN2020 大会開催に向けて

## 代表挨拶

拝啓

この度、北海道学生研究会 SCAN 第 11 期 運営代表を務めさせていただきます、札幌大学地域共創学群 経営学専攻 3 年の蔦井 義騎(つたい よしき)です。運営役員も代替わり致しましたのでご報告させていただきます。

さて、おかげをもちまして、北海道学生研究会 SCAN は今年で 11 年目を迎えることができました。今年は新型コロナウイルスの感染拡大もあり、学生をはじめ多くの方々が環境の変化に伴い、影響を受けられたと存じます。しかし皆様のおかげで本年もこの大会を開催することができます。

今後とも弊会をご支援くださります皆様に胸を張れるような研究発表会になるよう運営役員一丸となり、努めて参りますので、今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。

敬具

北海道学生研究会 SCAN(第 11 期)

学生運営代表 蔦井 義騎

令和 2 年 7 月 30 日

# 北海道学生研究会 SCAN2020 大会開催に向けて

## 顧問挨拶

北海道学生研究会 SCAN は今年 11 年目を迎えました。

昨年は、中学・高校生に浸透し始めた SDGs を絡めた地域づくりも意識した上で、節目の第 10 回記念大会を開催しました。また同時にこれまでの北海道学生研究会 SCAN の活動を振り返り、総括を行うとともに、次の 10 年を模索するためのワークショップも開催しました。

今年はその意味で、北海道学生研究会 SCAN も新たな門出を迎える予定でしたが、2 月以降の新型コロナウイルスの道内感染により、社会経済情勢は大きく変貌しました。

新型コロナウイルス(COVID-19)の感染抑止から、生活環境、経済環境は一変しました。6 月には「新北海道スタイル」が提唱され、新型コロナウイルスとの共生を図りながら新しい生活や経済活動の模索が始まりました。2~5 月は行動自制を前提とする生活環境でしたが、6 月以降は共生を前提にした生活環境を創造する局面に変わりました。

コロナ禍にあって、これまで当たり前に行われてきた地域の活動や地域活性化事業も休止や大規模な縮小化を余儀なくされていますが、活動の休止や停滞は地域の疲弊問題を少しも食い止めることは出来ません。今こそ知恵や工夫を活かして地域の再生や地域活性化につながる活動を真剣に考えるべきなのではないでしょうか。

北海道学生研究会 SCAN はこの難題に立ち向かうべく、初のオンライン開催を実施することにしました。いろいろ悩みながらも運営事務局を担う学生たちがこの難題に真摯に向き合い、1つの解を導き出してくれたことに感謝します。また、このオンライン開催に賛同し、今年も参加表明してくれた学生さん、また協賛頂きました関係者の皆さま、地域の皆さまに心より御礼申し上げます。

今年の研究テーマは昨年に引き続き、「持続性のある地域づくり」と聞いています。2 年連続で同じ統一研究テーマが選ばれたことには大きな意味があると思います。

昨年は、統一研究テーマ同様に、北海道学生研究会 SCAN の活動も今後の 10 年をどう見据えるか、またどうありたいかを問うものでしたが、今年はその新たな第一歩を確かなものにするための挑戦の意が込められていると思います。

第 11 回大会が皆さまにとって、新たな第一歩を踏み出す挑戦につながることを祈念したいと思います。

北海道学生研究会 SCAN 顧問／  
札幌大学地域共創学群 経営・会計学系教授  
中山 健一郎  
令和 2年 7月 13日

- ・SCAN 公式ホームページ <http://scam-946.jimdo.com/>
- ・SCAN ブログ <http://ameblo.jp/gakuseisccan/>
- ・SCAN ツイッター <http://mobike.twitter.com/scan-946>

### ◎お問合せ先

北海道学生研究会 SCAN 運営事務局(札幌大学)  
〒062-8520 札幌市豊平区西岡3条7丁目3-1 札幌大学  
学生代表 蔦井 義騎(札幌大学地域共創学群経営学専攻 3年)

E-mail : scan\_su@yahoo.co.jp      Tel : 080-8629-8201